

ももの収穫始め予測（令和8年）

長野県果樹試験場(令和8年6月5日)

ももの成熟日数（開花期から収穫期までの日数）は、硬核期までの気温に大きく影響を受けます。果樹試験場（須坂市小河原）では、過去の生態と平均気温の関係を調査し、主要4品種について、満開日の翌日から50日間の平均気温が高いほど、成熟日数が短くなる関係を認め、これを基に作成した収穫予測式（平成29年 第2回技術情報）により、収穫始めを予測しています。

本年のももの満開は平年より10日早く、収穫始めは平年に比べて10日程度早まる予想です（表1）。実際の収穫にあたっては、内部品質を良く確認し、適期の収穫を心がけましょう。

表1 令和8年度 長野県果樹試験場におけるもも4品種の収穫始め予測

品種	満開日	満開後1～50日の平均気温	満開から収穫始めまでの日数	収穫始め(予測日)	平年比(実績)	昨年比(実績)
白鳳	4月14日	16.8℃	99日	7月22日	-10	-7
あかつき	4月13日	16.6℃	100日	7月22日	-10	-7
なつっこ	4月14日	16.6℃	108日	7月31日	-10	-9
川中島白桃	4月14日	16.9℃	121日	8月13日	-11	-2

気温は地域気象観測システム（アメダス、長野県長野）より
平年値は2005～2025年の平均値。